

(8枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 次の1～3に答えなさい。

- 1 次の(1)・(2)は、ある法規の条文の一部です。空欄(a)・(b)に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えなさい。また、(3)の文の(c)に当てはまるこれらの条文が記載されている正しい法規名を、下の①～⑤の中から1つ選び、その記号を答えなさい。なお、同じ記号には同じ言葉が入ります。aは解答番号1、bは解答番号2、cは解答番号3の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 第15条

- ② すべて公務員は、全体の(a)であつて、一部の(a)ではない。

(2) 第26条

- すべて国民は、法律の定めるところにより、その(b)に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

(3) 上記の条文が記載されている法規名は(c)である。

- | | | | | | |
|---|---------|---------|---------|------------|-----------------------|
| a | ① 代表者 | ② 勤労者 | ③ 奉仕者 | ④ 形成者 | ⑤ 主権者 |
| b | ① 才能 | ② 学力 | ③ 業績 | ④ 能力 | ⑤ 年齢 |
| c | ① 日本国憲法 | ② 教育基本法 | ③ 学校教育法 | ④ 教育公務員特例法 | ⑤ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 |

- 2 次の(1)・(2)は、「地方公務員法」と「学校教育法施行規則」の条文の一部です。空欄(a)～(c)に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えなさい。なお、同じ記号には同じ言葉が入ります。aは解答番号4、bは解答番号5、cは解答番号6の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 地方公務員法第38条

- 職員は、(a)の許可を受けなければ、商業、工業又は金融業その他営利を目的とする私企業（以下この項及び次条第一項において「営利企業」という。）を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規則（人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体の規則）で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。

(2) 学校教育法施行規則第26条

- ② 懲戒のうち、退学、停学及び訓告の処分は、(b)（大学にあつては、学長の委任を受けた学部長を含む。）が行う。
- ③ 前項の退学は、市町村立の小学校、中学校（学校教育法第七十一条の規定により高等学校における教育と一貫した教育を施すもの（以下「併設型中学校」という。）を除く。）若しくは義務教育学校又は公立の特別支援学校に在学する(c)を除き、次の各号のいずれかに該当する児童等に対して行うことができる。
- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者
 - 二 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
 - 三 正当の理由がなくて出席常でない者
 - 四 学校の秩序を乱し、その他学生又は生徒としての本分に反した者
- ④ 第二項の停学は、(c)に対しては、行うことができない。

- | | | | | | |
|---|-------|---------|----------|----------|--------------|
| a | ① 首長 | ② 任命権者 | ③ 上司 | ④ 裁判所 | ⑤ 人事委員会 |
| b | ① 教育長 | ② 教育委員会 | ③ 学校の設置者 | ④ 校長 | ⑤ 職員会議 |
| c | ① こども | ② 若者 | ③ 学習者 | ④ 児童又は生徒 | ⑤ 学齢児童又は学齢生徒 |

(8枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 3 次の条文は、「こども基本法」の一部です。空欄 (a) ～ (d) に当てはまる言葉は何ですか。下の㉠～㉦の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。なお、同じ記号には同じ言葉が入ります。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

第3条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

- 一 全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、(a) を受けることがないようすること。
- 二 全てのこどもについて、適切に (b) されること、その生活を保障されること、愛され保護されること、その健全な成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉に係る権利が等しく保障されるとともに、教育基本法（平成十八年法律第百二十号）の精神にのっとり教育を受ける機会が等しく与えられること。
- 三 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して (c) を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。
- 四 全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、その (c) が尊重され、その (d) が優先して考慮されること。

- | | | | |
|--------------|--------|--------|------------|
| ㉠ a : 差別的取扱い | b : 養育 | c : 意見 | d : 最善の利益 |
| ㉡ a : 差別的取扱い | b : 養育 | c : 個性 | d : プライバシー |
| ㉢ a : 差別的取扱い | b : 教育 | c : 意見 | d : 最善の利益 |
| ㉣ a : 暴力 | b : 養育 | c : 個性 | d : 最善の利益 |
| ㉤ a : 暴力 | b : 教育 | c : 個性 | d : プライバシー |
| ㉥ a : 暴力 | b : 教育 | c : 意見 | d : プライバシー |

(8枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 次の1・2に答えなさい。

- 1 以下の設問の(1)及び(2)は、平成29年3月告示の中学校学習指導要領から出題されており、設問中の文章は中学校学習指導要領を基本にしています。特に注意書きがない場合、文中に「生徒」とあるのは、小学校では「児童」に、特別支援学校小学部・中学部では「児童又は生徒」に、「各教科等」とあるのは、高等学校では「各教科・科目等」に、特別支援学校高等部では「各教科・科目等又は各教科等」に、それぞれ読み替えなさい。また、「中学校」とあるのは、それぞれの学校種に読み替えなさい。

(1) 次の文章は、中学校学習指導要領 総則 中学校教育の基本と教育課程の役割 の一部です。空欄(a)に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達段階を考慮して、生徒の言語活動など、(a)の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。

① 情報活用能力 ② 学習 ③ 生活 ④ 環境 ⑤ 生きる力

(2) 次の文章は、中学校学習指導要領 総則 教育課程の実施と学習評価 の一部です。下線部の内容に誤りがあるものはどれですか。下の①～④の中から、誤りがあるものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の一場面を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

① 意義や価値 ② 目標の実現 ③ 内容や時間のまとまり ④ 一場面

- 2 次の文章は、令和3年1月26日に、中央教育審議会から示された『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～の答申の 第I部 総論 5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方 (1) 学校教育の質の向上に向けたICTの活用 の一部です。空欄(a)～(c)に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

1人1台の端末環境を生かし、端末を(a)に活用することで、ICTの活用が特別なことではなく「当たり前」のこととなるようにするとともに、ICTにより現実の社会で行われているような方法で児童生徒も学ぶなど、学校教育を現代化することが必要である。児童生徒自身がICTを「文房具」として(b)な発想で活用できるよう環境を整え、(c)をデザインすることが重要である。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ① a : 定期的 | b : ユニーク | c : 授業 |
| ② a : 定期的 | b : ユニーク | c : 家庭学習 |
| ③ a : 定期的 | b : 自由 | c : 授業 |
| ④ a : 日常的 | b : 自由 | c : 家庭学習 |
| ⑤ a : 日常的 | b : ユニーク | c : 家庭学習 |
| ⑥ a : 日常的 | b : 自由 | c : 授業 |

8 教職に関する専門教育科目 問題用紙

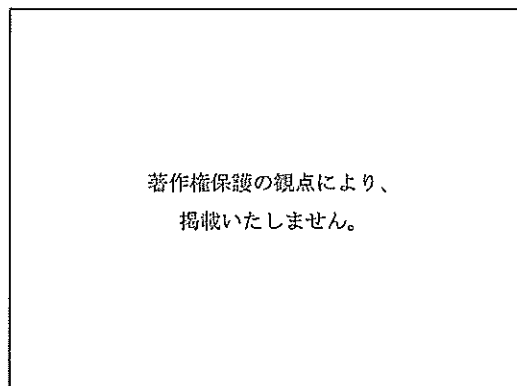
(8枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

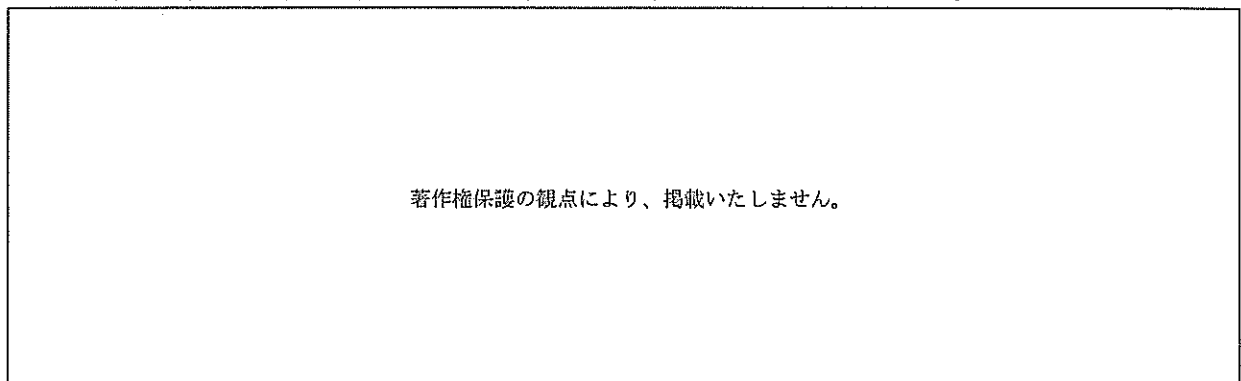
③ 次の1・2に答えなさい。

1 次の図はマズローが提唱した欲求階層説を模式的に表したものです。図中の空欄 (a) ～ (d) に当てはまる言葉は何ですか。下の㉠～㉤の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。



- | | | | |
|--------------|------------|--------------|--------------|
| ㉠ a : 安全への欲求 | b : 生理的欲求 | c : 自己実現への欲求 | d : 承認への欲求 |
| ㉡ a : 生理的欲求 | b : 承認への欲求 | c : 安全への欲求 | d : 自己実現への欲求 |
| ㉢ a : 生理的欲求 | b : 安全への欲求 | c : 承認への欲求 | d : 自己実現への欲求 |
| ㉣ a : 安全への欲求 | b : 生理的欲求 | c : 承認への欲求 | d : 自己実現への欲求 |
| ㉤ a : 生理的欲求 | b : 安全への欲求 | c : 自己実現への欲求 | d : 承認への欲求 |

2 次の文章は、学習の個別化や学習の集団化について述べたものです。空欄 (a) ～ (c) に当てはまる言葉は何ですか。下の㉠～㉤の中から、正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えなさい。なお、同じ記号には同じ言葉が入ります。aは解答番号12、bは解答番号13、cは解答番号14の解答欄にそれぞれマークしなさい。



- | | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| ㉠ 課題解決学習 | ㉡ 労作教育 | ㉢ 実験学校 | ㉣ プロジェクト・メソッド |
| ㉤ イエナ・プラン | ㉥ モリソン・プラン | ㉦ アクティブ・ラーニング | ㉧ ドルトン・プラン |
| ㉨ ウィネトカ・プラン | ㉩ モニトリアル・システム | | |

(8枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 次の1・2に答えなさい。

- 1 次の条文は、「教育基本法」の一部です。空欄 (a)・(b) に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

第4条

- 2 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の (a) に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な (b) を講じなければならない。

- ① a: 状態 b: 支援
 ② a: 状況 b: 配慮
 ③ a: 特性 b: 支援
 ④ a: 状態 b: 配慮
 ⑤ a: 特性 b: 配慮
 ⑥ a: 状況 b: 支援

- 2 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 特別活動 指導計画の作成と内容の取扱い の一部です。空欄 (a)・(b) に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

異年齢集団による交流を重視するとともに、幼児、高齢者、障害のある人々などとの交流や対話、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を通して、(a) することや、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることの (b) を得られる活動を充実すること。

- ① a: 協力 b: 達成感
 ② a: 協力 b: 喜び
 ③ a: 成長 b: 満足感
 ④ a: 成長 b: 達成感
 ⑤ a: 協働 b: 喜び
 ⑥ a: 協働 b: 満足感

(8枚のうち6)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

[5] 次の1・2に答えなさい。

- 1 次の条文は、「学校保健安全法」の一部です。空欄（ a ）・（ b ）に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

第27条

学校においては、児童生徒等の安全の（ a ）を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する（ b ）を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

- ① a：確保 b：休憩時間
 ② a：確保 b：通学
 ③ a：確保 b：放課後
 ④ a：維持 b：休憩時間
 ⑤ a：維持 b：通学
 ⑥ a：維持 b：放課後

- 2 次の条文は、「学校保健安全法施行規則」の一部です。空欄（ a ）に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

第28条

法第二十七条の安全点検は、他の法令に基づくもののほか、毎学期一回以上、児童生徒等が通常使用する施設及び設備の（ a ）について系統的に行わなければならない。

- 2 学校においては、必要があるときは、臨時に、安全点検を行うものとする。

- ① 異常の有無 ② 使用目的 ③ 耐用年数 ④ 活用方法 ⑤ 所在

(8枚のうち7)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 次の1～3に答えなさい。

- 1 次の条文は、「いじめ防止対策推進法」の一部です。空欄（ a ）～（ c ）に当てはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

第2条

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の（ a ）にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の（ b ）を感じているものをいう。

第8条

学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ（ c ）にこれに対処する責務を有する。

- | | | |
|------------|----------|--------|
| ① a : 人的接触 | b : ダメージ | c : 丁寧 |
| ② a : 人的接触 | b : 不安 | c : 丁寧 |
| ③ a : 人間関係 | b : 苦痛 | c : 迅速 |
| ④ a : 人間関係 | b : ダメージ | c : 慎重 |
| ⑤ a : 人的関係 | b : 苦痛 | c : 迅速 |
| ⑥ a : 人的関係 | b : 不安 | c : 慎重 |

- 2 令和4年12月に文部科学省が公表した生徒指導提要の 第2章 生徒指導と教育課程 2.2 教科の指導と生徒指導 2.2.3 教科の指導と生徒指導の一体化 では、生徒指導の実践上の4つの視点が示されています。次の①～④のうち誤りがあるものはどれですか。1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号20の解答欄にマークしなさい。

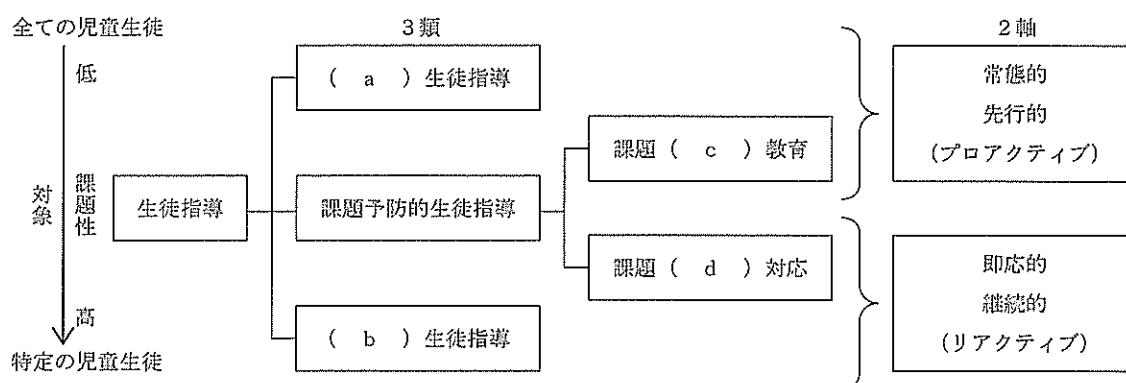
- | |
|-------------------------|
| ① 継続的な学びを促進する授業づくり |
| ② 共感的な人間関係を育成する授業 |
| ③ 自己決定の場を提供する授業づくり |
| ④ 安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業 |

(8枚のうち8)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 3 次の図は、令和4年12月に文部科学省が公表した生徒指導提要の 第1章 生徒指導の基礎 1.2 生徒指導の構造 1.2.1 2軸3類4層構造 を基に、生徒指導の分類を示したものです。この図では、児童生徒の課題への対応を時間軸や対象、課題性の高低という観点から類別し、構造化しています。図中の空欄 (a) ～ (d) に当てはまる言葉は何ですか。下の ①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号21の解答欄にマークしなさい。



- | | | | |
|-------------|-------------|----------|----------|
| ① a : 発達支持的 | b : 消極的 | c : 未然防止 | d : 早期発見 |
| ② a : 発達支持的 | b : 困難課題対応的 | c : 早期発見 | d : 未然防止 |
| ③ a : 発達支持的 | b : 困難課題対応的 | c : 未然防止 | d : 早期発見 |
| ④ a : 積極的 | b : 消極的 | c : 早期発見 | d : 未然防止 |
| ⑤ a : 積極的 | b : 困難課題対応的 | c : 早期発見 | d : 未然防止 |
| ⑥ a : 積極的 | b : 消極的 | c : 未然防止 | d : 早期発見 |

氏 名

受 験 番 号

十 万 万 千 百 十 一

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの黒鉛筆で該当する○にマークしてください。
 マーク例（良い例） 
 （悪い例）   
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する○にマークしてください。

解答 番号	解 答 欄									
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
22	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
23	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
25	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

1

2

3

4

5

6